

掛川市社会福祉協議会 放課後デイサービスセンターの 「支援プログラム」

運営主体 掛川市社会福祉協議会の理念

みんなの幸せをつなぐ福祉のまちづくり



掛川市社協キャラクター
キョーちゃん

掛川市社協放課後等デイサービスセンターは、障害児及び保護者の意向、障害児の適正及び障害の特性その他の事情をふまえて本人主体の個別支援計画を作成し、5領域に基づく以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。

支援内容 5領域について

(1)健康・生活

- ・心身の健康状態の把握（健康観察・月1回体重測定 等）
- ・生活リズムの安定（生活習慣の把握・早寝早起きの奨励 等）
- ・生活スキルの獲得（お手伝い・調理実習・買い物体験・靴や服の着脱・トイレトレ 等）

(2)運動・感覚

- ・体操や軽い運動（散歩・鬼ごっこ・縄跳び・トランポリン・自転車・ラジオ体操 等）
- ・リズム運動（ダンス）

(3)認知・行動

- ・日付・曜日・天気に関する認知の形成（帰りの会の当番の仕事として確認・記入 等）
- ・時間に関する認知の形成（入室・退室時の時間記入 等）
- ・感覚に関する認知の形成（水遊び・紙ちぎり・バルーン・粘土遊び 等）
- ・空間把握に関する認知の形成（ブロック遊び・キャッチボール・縄跳び 等）
- ・季節の変化への興味など感性の形成（花壇・農作体験・自然観賞(ウォーキング) 等）
- ・特性に応じた環境設定・小集団でのゲーム 等

(4)言語・コミュニケーション

- ・言語の獲得・聞く力の形成（サイレントタイム・絵本読み聞かせ・帰りの会司会 等）
- ・言語の受容・表出支援（帰りの会での司会・発言機会 等）
- ・教材による読み書き（個々に合わせたワークなどを使った指導 等）
- ・言語に特性がある児への配慮（絵カード・サイン 等）

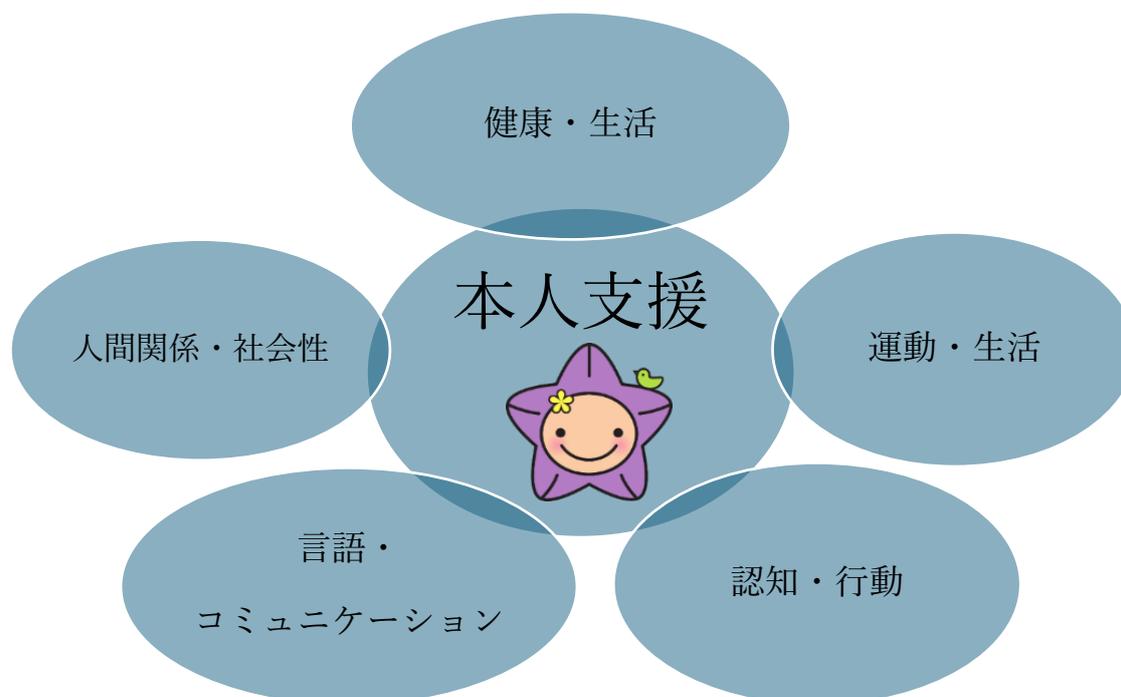
(5)人間関係・社会性

- ・アタッチメントの形成（親子参加行事「おたのしみ会」・ふれあい遊び）
- ・他者との関わり（レクリエーション・鬼ごっこ・トランプ・かるた・オセロ・囲碁 等）
- ・地域福祉活動（ゴミ拾い・草取り）
- ・社会資源の活用（公共交通機関の利用体験・公共施設利用や見学（公園・図書館 等）

本人支援の5領域とは

「本人支援」は、子どもの成長発達の側面から5領域にまとめられています。これらの支援内容はお互いに関連し、重なりあっています。

本人支援の目標は、将来の姿を見据えた、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするものです。



放課後等デイサービスとは

利用者が可能な限りその地域における生活が継続できるように、利用者の成長につながる心豊かな放課後と長期休暇の活動を支援するとともに、保護者及び家族の養育負担を軽減することを目的としています。

〈利用者に対するサービス内容〉

- ① 日常生活における基本動作の訓練（身の回りのことは自分でやろうとする気持ちを育てる）
- ② 集団生活への適応訓練（友達との活動を通して集団参加の楽しさを知らせる）
- ③ 社会適応訓練（経験を通してコミュニケーションの意欲を育てる。野外訓練・社会とのふれあいを通して社会性を高める）
- ④ 遊びの力を育む（余暇活動の充実に取り組む）
- ④ 家庭生活と地域生活への支援（保護者の養育負担の軽減・相談や助言）
- ⑥ その他児童の発達に必要な支援

事業所 放課後等デイサービスセンターはるかぜ

住所 杉谷1丁目1-31（希望の丘） 電話 0537-28-9251

多機能型掛川市社協放課後等デイサービスセンター（みなみかぜ）

住所 三俣620（大東保健センター1階） 電話 0537-72-1130

